



汽水域に生息するハゼの仲間では大型で最大全長20cmに達する。大型個体は稀。全長：約23cm

ハゼ科 ウロハゼ属

【最大全長】20cm

ウロハゼ

学名：*Glossogobius olivaceus*

分布域

新潟県・茨城県以南の本州と
四国・九州に分布する。

生息域

河川の河口域や汽水湖に生息。
泥底～砂泥底を好む。



若魚はマハゼと少し似る。全長：約12cm

ハゼの仲間としては比較的大型になり、最大全長が20cmに達する。大型個体は全身が暗褐色で背鰭の前が大きく盛上がる。頭部はやや縦扁し下顎が突出する。体色は茶褐色で暗色斑が散在する。成長すると暗色斑は増え、鱗は大きい。汽水域に生息し純淡水域にまで侵入することは少ない。泥底～砂泥底を好み比較的障害物の多い場所に生息する。食性は動物食性で魚食性が強い。繁殖期は夏で障害物の下に産卵しオスが卵を保護する。飼育下では夜間活発に行動する。

水槽での飼育は比較的丈夫で容易。海水比10～30%前後の汽水で飼育出来る。餌は活きた小型のハゼの仲間を好んで食べる。

在来種

汽水魚

※ 汽水域に生息し、比較的海に近い場所に多く視られる。純淡水域にまで侵入することは少ない。魚食性が強く、小型のハゼの仲間などをよく食べる。大型魚は比較的視る機会が少ない。